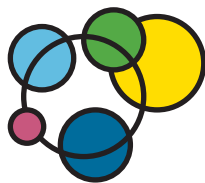


そわにえ
Soigner



第23号

「Soigner (ソワニエ)」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2012年6月20日発行

発行/東京訪問看護ステーション協議会(責任者 嶋森好子)
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9F
株式会社プロコムインターナショナル内
TEL: 03-5520-8824 / FAX: 03-5520-8820
http://www.tokyohoukan-st.jp

INDEX/

- ぼん・くらーじゅ ……①
- ステーション紹介 ……④
- 総会報告他 ……②
- 思いの絆 ……⑥
- 覆面座談会 ……③
- 編集後記他 ……⑧



中央大橋からスカイツリーを望む(中央区)

訪問看護のこれから

宮崎和加子

健和会・看護介護制作研究所 所長
全国訪問看護事業協会事務局 次長



訪問看護ステーションが日本に誕生して今年で丸20年。1992年5月、東京都の第一番目の指定を受けた「北千住訪問看護ステーション」の立ち上げを担当し初代所長を務めた私は、今年の医療保険・介護保険の同時改定を感慨深く受け止めました。

制度発足当時は、週2回の訪問しか認められていないとか、高齢者しか訪問対象ではない、24時間対応については何の保障もないなど、未成熟さは多々ありましたが、とにかく制度で認められた地域の中での看護師集団の活動を、みんなで充実させようと奮闘しつづけてきた20年だったと思います。

2000年の介護保険制度スタート以降は何かと苦慮することが多く、ある意味では訪問看護業界は足踏み状態ではなかったかと思えます。

2012年、今年は6年に一度という医療保険・介護保険

の同時改定。両方の保険にまたがっている訪問看護事業の整理・充実の絶好の機会です。複雑になってしまい国民から見てもケアマネ、あるいは、訪問看護師自身からみてもわかりにくくなっている制度の内容を、少しでもわかりやすく、使いやすいように、サービスを提供する私たちにとっても力を発揮できるように要望してきて、かなり整理されました。

そして、今後の訪問看護というか地域の中での看護職集団に多大な課題が提起されたのだと思います。それは、在宅への訪問看護という単品サービスだけではなく、医療ニーズの高い方の通い・宿泊も含めた多機能のサービスを利用して地域暮らし、そして、地域の中での看取りを行う拠点作りが必要なのだということです。具体的には『複合型サービス』です。定期巡回・随時対応サービスも含めて、介護職といっしょになった複合的なサービス作りが課題です。

首都東京で「新たな時代」への挑戦を!!

Bon Courage

ぼん・くらーじゅ

